

axf:font-face で追加のフォントを指定

axf:font-face の指定により AH Formatter の設定を変更することなく、また動作環境にフォントをインストールせずに文書内で利用するフォントを追加指定することができます。axf:font-face には font-family、font-style、font-weight、src などの属性があります。font-family は追加指定するフォントのフォントファミリー名に使用される名前です。この値はフォントデータのファミリー名よりも優先されます。オプションの font-style 属性と font-weight 属性はフォントのスタイルと太さを指定します。font-family と同様に追加指定するフォントに対し使用されます。src は代替フォントファイルの場所をカンマで区切ったリストです。src にはフォントの代替としてインストールされているフォントの別名 (エイリアス) も含めることができます。AH Formatter は src リストから最初に使用可能なフォントを利用します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:font-face](#)」をご参照ください。

宣言して追加のフォントを使用

<fo:declarations> 内にある axf:font-face を使用してフォントを指定します。各 URL は format() 関数で、フォントの種類を指定することができます。AH Formatter は woff (Web Open Font Format)、truetype、opentype に対応しています。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="Shakespeare"
    src="url('../img/ILShakeFest.ttf') format('truetype')" />
</fo:declarations>
...
<fo:block font-family="Shakespeare" text-align="center">Shakespeare</fo:block>
```

Shakespeare

代替フォントファイル

以下の例では、リモートフォントファイルをダウンロードするよりローカルフォントファイルが優先して使用されます。いずれも存在しない場合は、別名のローカルフォントが使用されます。

```
<axf:font-face font-family="Not Available"
  font-style="italic"
  src="url('NotAvailable.ttf'),
  url(https://example.com/font/NotAvailable.ttf),
  local(Arial)" />
```

Not Available

複数プラットフォームでの別名フォント（エイリアス）

異なるプラットフォーム上で日本語フォントの別名（エイリアス）を作成します。

```
<axf:font-face  
  font-family="jpgothic"  
  src="local (HiraKakuPro-W3), local (Meiryo), local (IPAPGothic)" />
```

ゴシック系のフォント